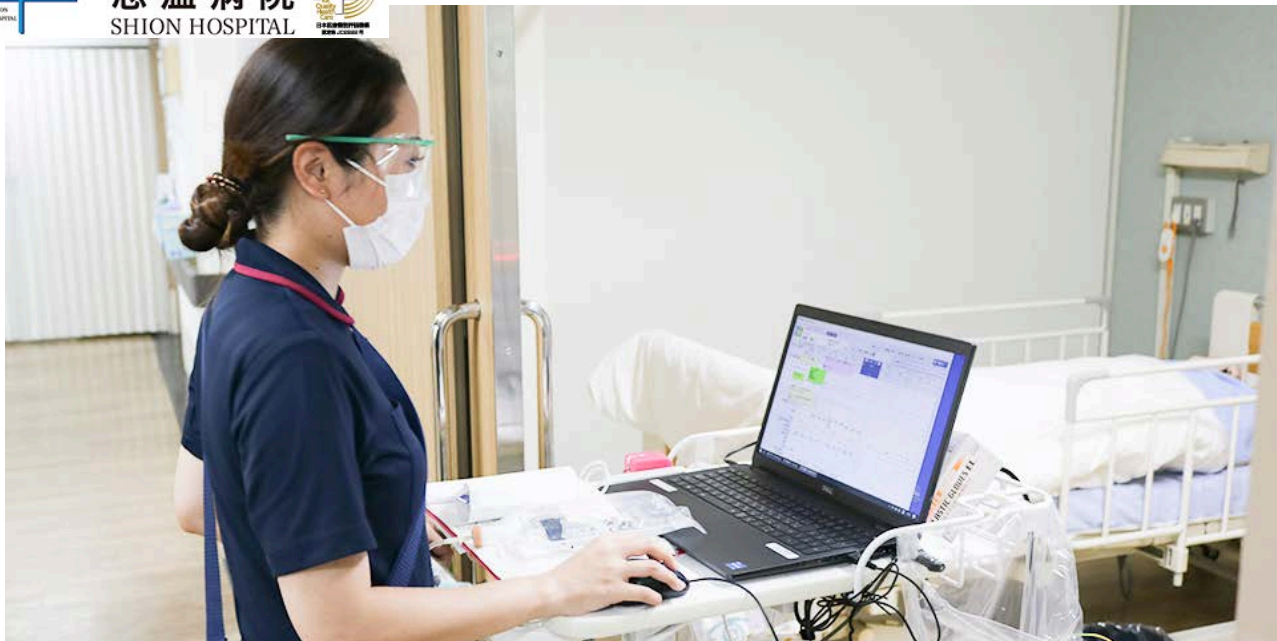


しおんだより VOL.29



電子カルテが導入されて1年が経ちました

令和4年度も終わろうとしています、本年度のトピックスの一つが電子カルテの導入でした。

「カルテ」というのは、患者さんおひとりおひとりごとの医療の記録ですが、もともとはドイツ語で厚紙や小さい紙の札のことをさす'Karte'が語源なのだそうです。

明治の頃、文明開化の一環で、日本がドイツ医学を輸入した時に「患者の状態を書いた紙」のことをドイツの先生が'Karte'と呼んでいたことから、日本では患者さんの医療記録を「カルテ」と呼び習わすようになったということです。

私が医師になったころ（もう28年前…）には、まだまだ大学病院でも紙のカルテでした。紙には紙のいいところもあるのですが、世界に1冊しかないその患者さんの大切な記録ですので、そのカルテを探して院内を駆けずり回るということも珍しいことではありませんでした。それが、カルテを電子化した今では、院内の各所に設置された電子カルテ端末からアクセスしたり記録することができますし、私が自分の悪筆を反省することも少なくなりました（！）。

導入当初は、操作に不慣れなこともありご迷惑をおかけしましたが、今は、スタッフ皆が使いこなして、毎日の業務に当たっています。カルテを電子化してよかった！

カルテの電子化は、情報の共有のしやすさや、様々な業務の効率化などを通じて、皆様への治療の質を向上させることにつながっています。

消化器外科 谷直樹先生が、大学院に戻られます…

昨年4月から、当院で勤務されていた消化器外科 谷直樹先生が任期を終えて、大阪公立大学大学院医学研究科に戻られます。

当院では、高齢者の方が多く、また、内科的な疾患もたくさん診療をしていただいていたのですが、もともとは、肝臓や胆嚢、膵臓の外科領域で活躍されてきたこともあり、戸惑われることも多かったと思います。そんな中でも、マスク越しでもわかる優しい目と患者さん思いの言動には、周りのスタッフも「見習わなくてはならない!」と感じることが多く、患者さんとの対応も若手とは思えないぐらいにスムーズでした。

これからは、当面、研究を続けながらご専門の外科領域で一層の研鑽を積まれていくと思います。是非、当院での経験も活かして、先生らしく医療の現場で活躍して頂ければと思います!

谷先生、ありがとうございました!



温和な性格、柔らかい物腰と、患者さんへの熱心な対応は、私も大変勉強になりました!

春はお別れの季節ですが、新しい出会いの季節でもあります

年度替わりだから、ということではありませんが、春は色々なお別れがあります。谷先生だけでなく、院内でもいくつかのお別れがあります。

どのスタッフとも、共に過ごした日々や一緒に治療に当たった患者さんのことを思うと寂しい気持ちで一杯にもなりますが、それぞれが新たな道に出発するということですから、一抹の寂しさの中にも、喜ばしい一面もあるということでしょうか。

その一方で、春は新しい出会いの季節でもあります。すでにご入職頂いてる方もいらっしゃいますし、新年度になると新社会人を含めて、新しいスタッフを当院にもお迎えする予定です。

そんな環境の変化もありますが、当院の理念である「**思温病院があるから安心・安全と思って頂くこと**」を目指して、職員一丸となって、頑張っ



朝のランニングの途中、鮮やかな梅の花が咲き誇っていました。

しおんだより 第29号 発行日：令和5年3月15日

発行人：狭間研至 発行元：医療法人嘉健会 思温病院

☎557-0034 大阪市西成区松1-1-31 電話06-6657-3711 HP: www.shion-hp.or.jp